

1 本年度の重点目標

単位制教育課程及びSSH事業を核とした多様な学習活動による学力向上を図り、生徒・保護者・地域の信頼・期待に応える希望進路実現を叶える教育活動の推進

(1) 主体的・対話的に自ら学び探究する意欲と態度を高める学習指導を推進する

(2) 自主的・自律的な行動を身に付け、豊かな人間性・社会性を有する生徒を育成する

(3) 人生観や職業観、自己理解を深めるキャリア教育を推進しつつ、進路希望実現を図る

(4) 自他の生命を尊重し、自発的に健康・安全や環境美化に努める能力を育成する

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
総 務	・ホームページの運用において、情報公開の機会を増やす必要がある。	・部活動など就労時間が長くなりがちな業務を改善し、教員の健康面やメンタル面に配慮しなければならない。
改善方策	・新たに「note」を導入することをにより積極的に情報発信をする。 ・業務のICT化により業務の簡略化を図る。	
学習指導	・総合探究の充実、SSH校の取組、単位制の教育課程などについて、滝川高校の目指している学校像を明確化し、優先順位をつけることが必要である。	・「探究的な活動」が充実しており、これからの時代に必要な資質・能力を育てる素晴らしい教育を実践している。
改善方策	・SSHⅢ期目が採択され、探究的な活動や単位制による特色のある教育課程を編成する。	
生徒指導	・生徒の交通マナーに関する正しい知識を身に付け、意識を向上させる必要がある。 ・スマートフォンの使用ルールを始め情報モラル教育を充実させる必要がある。	・いじめ防止対策委員会の具体的な取組を充実させるとよい。
改善方策	・ICT機器を効果的に活用するとともに、スマートフォンを含めた情報モラル教育を充実させる。 ・交通マナーやいじめの未然防止に向けた具体的な取組を実施する。	
進路指導	・進路指導室の文献を充実させた。 ・国公立大学への進学者が100名を超え、多くの生徒の進路実現が達成できた。 ・講習のあり方について検討する必要がある。	・生徒の進路実現が達成できたことは大変望ましい。
改善方策	・進学に向けた学習指導、探究的な活動に係る授業改善により進路指導の充実を図る。	